

# しぜん通信

## 色鮮やかな夏の昆虫

日差しの強い日に  
木の高い場所を  
飛んでいます。



### タマムシ

大きさは30~40mmくらいで、光沢のある緑色のはねに赤い縦じまの人気の昆虫です。

エノキの木に産卵をするので、その木の周辺で見かけることが多いです。

はねの美しさは死んでしまっても変わりません。「玉虫厨子」の装飾に使われているのは有名ですね。まさに、玉(宝石)の昆虫です。



水辺付近や湿っていて日当たりのよい道にひょこり現れます。

### ハンミョウ

大きさは20mmほどの青・赤・緑色に白い斑点がきれいな昆虫です。

散策道を歩いていると、急に足下からとびたち、少し先の地面に舞い降ります。その様子がまるで道案内をしているようなので「ミチオシエ」ともいわれる昆虫です。

立派なあごで他の昆虫をすばやく捕らえる姿が、猫の狩りのようなので「斑猫」なんだとか。



### タマムシの色は どうしてそのままなの?

タマムシの体の表面はいくつかの透明な層でできています。そこに光があたると、反射していろいろな色に見えるんです。タマムシを見る角度によって違う色でキラキラ輝いて見えるのはこの構造のおかげです。

色がついているのではなく、光が反射して見える色だから色あせないのです。

こうした発色を「構造色」という



### 夏の散策は涼しい木陰を利用しよう



木陰は日陰をつくってくれるだけでなく、葉から少しずつ水分を出しています。そのため、日なたに比べて森の中は涼しく感じ気持ちよく散策することができます。

また、昼間の強い日差し避けて休んでいる昆虫たちにも出会えるかもしれませんよ。

帽子や水分補給など熱中症対策もお忘れなく!

